

# 平成23年 萩市議会6月定例会

## 一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	3	西 中 忍	6月27日午前
2	12	木 村 靖 枝	
3	6	岡 通 夫	午後
4	13	斉 藤 眞 治	
5	24	世 良 眞名夫	
6	11	松 尾 義 人	
7	10	広 兼 義 烈	6月28日午前
8	16	中 村 洋 一	
9	9	中 野 伸	午後
10	2	関 伸 久	
11	19	宮 内 欣 二	
12	18	平 田 啓 一	
13	23	西 元 勇	6月29日午前
14	14	柴 田 保 央	
15	20	諸 岡 皓 二	午後
16	5	大 村 赳 夫	
17	4	椋 晶 雄	
18	1	佐々木 武 夫	

質問順位	1	質問者	西 中 忍 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1．エネルギーの有効的な利活用について	<p>東日本大震災により、発生した福島第一原子力発電所の放射能漏れという事故。</p> <p>この事故を契機に、日本国内はもとより全世界的に、エネルギー政策を転換するという気運が高まっています。</p> <p>上関原発計画を抱える山口県内の各自治体で様々な議論が行われています。</p> <p>今年度の重点課題の一つに「低炭素社会の実現に向けた取り組み」を掲げている萩市だからこそ、太陽光発電などを積極的に普及させるとともに、利用可能なエネルギーを最大限利活用していかなくてはいけないと考えますが、市長のお考えや、萩市としての方向性についてお尋ねします。</p>		
2．教科書選定のプロセスについて	<p>教育基本法の改正後、初めての教科書選定が行われますが、この教科書選定がどのような基準で、またどのような手順を踏んで行われているのか、お尋ねします。</p>		

質問順位	2	質問者	木村靖枝議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 安心・安全なまちづくり	1. 防災について 2. 公共施設の耐震化は 3. 市民生活における安心安全なための対策と啓発 ・避難所の検証と周知 ・避難訓練の実施の推進 4. 災害の未然防止について		

質問順位	3	質問者	岡 通 夫 議 員
質問項目	質問事項及び要旨		
1．森林の環境と保全について	1．森林の保全対策と水源地付近の公有地化について		
2．地域の消防分団の充実について	1．消防分団に小回りのきく原動機付二輪車の配備について		
3．災害時の避難場所は安全か	1．再点検について		
4．萩市が管理する橋について	1．点検状況について		

質問順位	4	質問者	斉藤真治 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 安心・安全なまちづくり（防災対策について）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 防災に対する自助・共助の啓発は</li> <li>2. 防災予防計画における県との連携は</li> <li>3. 市災害対策本部の災害訓練（各課の分担訓練）は （水害、土砂崩れを想定した市全域の避難訓練、要援護者マップの作成、マンパワーの確保策）</li> <li>4. 災害時の市職員の居住地区での役割は （避難初動要員の配置及び施設の休園、休校時の職員への指示）</li> <li>5. 地方公務員間（県職員（教員を含む）、市職員）及び事業所との合同防災会議は</li> </ol>		
2. 市民とのコミュニケーション（情報公開と苦情処理について）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育園の統廃合について <ul style="list-style-type: none"> <li>・新川、椿東保育園と市営住宅との統合の進捗状況及び保護者、職員への説明は</li> <li>・土原保育園の存続の方針は</li> </ul> </li> <li>2. 総合窓口ワンストップ化の進捗状況について <ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口業務受託事業所との契約は</li> <li>・受託事業所職員の役割と関係市職員との連携は （本格実施前の市民への情報公開と模擬テストの執行は）</li> </ul> </li> <li>3. 指定管理者が維持管理する施設の補修について <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の補修費の予算配分は</li> </ul> </li> </ol>		

質問順位	5	質問者	世良真名夫 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 教育施設の整備について	1. 緊急時における施設の整備について		
2. 安心して通行できる歩道の整備	1. 県道萩篠生線松本・中の倉地区周辺整備について		
3. 萩の観光に障がい者や足の不自由な高齢者のための車椅子の整備	1. 自然にやさしい観光への取り組み 2. 観光地に車椅子の整備		

質問順位	6	質問者	松尾義人議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 市役所の機構について	1. 副市長2人制の期待と効果について		
2. 職員の定数について	1. 萩市定員適正化計画の進捗状況と見直しについて		

質問順位	7	質問者	広 兼 義 烈 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 観光産業の振興について問う	<p>1. 萩市観光の現状</p> <p>2 2年中の観光客数は240万人と推計されている。前年比9.7%という大幅な増加である。今年は国体が開催されるので増加を期待している。</p> <p>そこで22年中の観光客の動向について問う。</p> <p>日帰り客数  宿泊客数</p> <p>県内客数  県外客数</p> <p>外国人客数</p> <p>交通機関別客数  自家用車  貸し切りバス  JR  その他</p> <p>主な観光施設（神社・史跡等を含む）別利用状況</p> <p>観光消費額</p> <p>萩市観光に観光客が期待しているものは何か  食か  温泉か  歴史・文化か  もてなしか  風景か  習俗か</p> <p>2. 観光産業化に向けての課題と今後の取り組みについて問う</p>		



<p>2. まちづくりの課題と今後の対策について問う</p>	<p>1. 一市二町四村が合併し新萩市が誕生して5年が経過した。その間、新市として一体感の醸成に努め今日に至っている。まちづくり(自治体運営)をどのように検証・評価しているのかを問う。</p> <p>周辺部(旧町村)は急速に活力を失いつつある。合併によって周辺部は自治権を失ってしまった。その結果、特色あるまちづくりを目指し地域の活力維持に努めてきたが行財政の画一化により、それができ難くなったことが地域衰退の要因だと判断している。</p> <p>次に考えられることは、林業の低迷・木材価格の低下。公共事業予算の削減に伴う土木建築業への就労の場が失われたことがあげられる。</p> <p>結果として、22年10月に実施された国勢調査の速報値が示すように旧町村の人口は過去5年間で軒並み10%以上減少している。看過できない現状である。</p> <p>萩地域の減少率よりも周辺部の減少率が大きいことも分析・検討すべきである。</p> <p>県下13市の中で萩市の人口減少率は最も大きい。人口定住の条件整備が必要と思うが、どのような取り組みをされるのか問う。</p> <p>理由のいかんを問わず周辺部の現実は大変厳しい。 このままだと消滅する集落もでかねないが、それでは合併の意味がない。</p> <p>2. 地域の特色・特性をできるだけ尊重した、まちづくりを推進すべきである。</p> <p>そのためには総合事務所の権限強化、それに基づく予算配分が欠かせないと思うが市長の考えを問う。</p> <p>合併による生活弱者がでないよう、住民意思が反映された公平な行政サービスが今後とも提供されるよう自治体運営に万全を期していただきたい。</p>
--------------------------------	--

質問順位	8	質問者	中村洋一議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 防災対策について	1. 東日本大震災を踏まえ、市としてどのように減災対策に取り組んでいくのか 2. 「被災者支援システム」の導入を		
2. 医療費の引き下げに具体的対策を	1. ジェネリック医薬品の具体的な推進を 2. 健康診断・予防指導の徹底で医療費の抑制を 3. 重複・頻回受診の是正にどのように取り組むのか		
3. 介護保険サービスについて	1. 福祉用具・住宅改修費の「償還払い」を「受領委任払い」制度に改善を		

質問順位	9	質問者	中野伸議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 行政組織について	1. 副市長2人体制について 2人体制となって2ヶ月余り経過したが、現在、2人体制を行政の運営にどのように活かされているのか、また、今後どのように活かしていかれるのか。		
2. 畜産の振興について	1. 養豚事業について 養豚農家への支援策はないのか。		
3. 観光受け入れ体制について	1. おもてなしの充実について (1) 観光地、観光名所の清掃美化はどのようにされているのか。 (2) 定期的に観光地、観光名所へ向かい清掃美化の点検はされているのか。 (3) 国体に向け特別な美化活動に取り組まれることはないのか。		
4. 災害復旧事業について	1. 小規模治山事業について 地元要望箇所の復旧事業の進捗状況は。		
5. 消防の充実強化について	1. 消防水利の整備について 火災時における市民の不安は解消できたのか。		

質問順位	10	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 若者の雇用流出を止めるには教育の現場からの意識改善を！	<p>中村教育長の教育方針についてお訊ねしたい。</p> <p>現在の萩市では高卒就職者の約1割しか、地元に残らないなど若者の雇用流出が深刻だ。</p> <p>大手企業の進出がなく、雇用の受け皿がないなどの問題はありますが、一方で仕事は自ら作り出すものとの考え方もある。これにはリスクが伴うが、それでもチャレンジしたいという子供たちを育て、地元への歩留まりを高めていかないことには、この萩市をはじめとした地方都市の社会システムは崩壊する。そこで、そういった考え方を教育レベルでも伝えていく必要があると思うが、新教育長の率直なお考えをお聞きしたい。</p> <p>また萩にゆかりのある仕事への関心を高めるためにも、職業体験も必要である。現在では田植え作業の実施、職業講話などを実施されているが、萩にゆかりある職業体験をもっと広範囲に行うべきと思料する。</p> <p>児童・生徒の職業に対する憧れは想像以上であり、それはキッズニアの盛況が物語っている。</p> <p>萩市は人材の供給基地ではない。</p>		
2. 萩往還ワンデーウォークの期間開催はできないか。	<p>この3月に行われた萩往還ワンデーウォークは悪天候にもかかわらず盛況であり、参加者の満足度も総じて高い。このコンテンツは体験型観光として、他市では類を見ないポテンシャルを秘めており、地域資源を活用しつつ「まちじゅう博物館」構想を大きく前進させることもできるため、今後、積極的な活用をお願いしたい。</p> <p>また半日かけて行うことのできるイベントであり、市内観光も含めた連泊需要を喚起することもでき、観光産業への寄与度も高いものと思われる。ついては、萩往還ワンデーウォークを期間開催できないかお訊ねするものである。尚、開催時期は観光オフシーズンとなる12月～3月が望ましい。</p>		

<p>3 .「小郡萩道路」と「山陰自動車道」の建設推進には山口県と他市との連携を強めて！</p>	<p>先月の5月28日に地域高規格道路である「小郡萩道路」の秋吉台IC～絵堂ICがようやく開通し、中国自動車道と接続する約13kmが直結した。これで小郡萩道路の完全開通に1歩前進したと思うのは早計である。今回は秋吉台への誘導道路としての位置づけが強く、むしろここからが正念場だ。平成6年以降、期成同盟会を立ち上げ活動を続けてきたが、やはり山口県と近隣他市との連携が肝である。なぜなら、この小郡萩道路をはじめ山陰自動車の建設に前向きでない人たちが多いからだ。特に美祢市民からは、小郡萩道路には後ろ向きの声が上がるし、山陽サイドの県議会議員も山陰自動車道には反対との声も多いと聞く。だからこそ、どういう位置づけで推進するかが問題となってくる。</p> <p>企業誘致、観光客誘致といった掛け声は近隣他市の理解は得難い。なぜなら、これは競合分野だからだ。しかし命の道という位置づけであれば、理解は得やすい。現に先日、出産予定日2カ月前で胎盤剥離を起こし、市内の医療機関では対応できず、他市の医療機関に緊急搬送されるという事例を体験者から聞いた。あと一時間遅ければ、母子ともに命は危なかったとのことである。これが医療過疎、萩の現実である。そして、今回の東北沖の大地震である。海岸線の道路は寸断され、その機能と多くの命を失った。それは萩市にもあてはまる現実である。命を救う道、これなら十分に理解は得られるのではないか。</p> <p>(道路完成までの)道のりは長いが、共通理解という土台を山口県、他市ともにつくらねば推進力は得られない。幸いにも、今期限りで勇退する二井知事の目下の関心時は山口県の医療問題という。多くの医療従事者が萩で働くことが望ましいが、これは相手がいることである。やはり命の道が欲しい。その働きかけをより一層強めて欲しい。</p>
<p>4 .まぁーるバスの路線変更には論理的な根拠が必要では。</p>	<p>今年度から、まぁーるバスの路線が一部変更された。これは離島市民の利便性を高めるための路線変更と聞いているが、一方で便数の減った路線もある。これについて市民からの苦情も届いているが、やはり路線変更には論理的な根拠が必要である。具体的には乗降客数である。どのバス停で何人が乗降しているかを把握する必要がある。これをしないことには、路線変更にあたり、市民への説明責任を果たしているとは言い難い。</p>

	<p>逆に乗降数が著しく少ないバス停は廃止することも効率化の観点からも必要である。そのためにも、乗降数の統計を市民に示すことが望ましいと思われるが、ご意見をお聞かせ願いたい。</p>

質問順位	11	質問者	宮内欣二議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 地震に強いまちづくり	1. 地域防災計画の見直しが必要ではないか 2. 地震への備えは万全か 3. 津波対策は十分に行われているか 4. 学校耐震化計画の促進はどうか 5. 地盤の液状化への対策はどうか 6. 広域災害における対応準備は万全か 7. 自主防災組織の組織率向上が必要ではないか 8. 常備消防の体制整備、意識改革は進んでいるか 9. 東日本大震災支援は効果的に行っているか		
2. 地上波テレビのデジタル化への対応は万全か	1. 地上波テレビの地上デジタル化が7月24日に迫ってきたが、地デジ化難民を産まない対応は万全に行われているか 2. 萩ケーブルネットでの低料金設定の見通しはどうなっているか		
3. 新清掃工場建設について	1. 東日本大震災による計画の見直しはあるか 2. 見積り提案書の応募状況について		
4. 環境保全型農業の推進について	1. 環境保全型農業の推進の考えはあるか 2. 萩市独自の戦略戦術はあるか 3. 環境保全型農業直接支払い制度について 4. 有機農業推進計画は策定しないのか		

質問順位	12	質問者	平田啓一議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 農業振興について	1. 農業の6次産業化法について		
2. 防災行政について	1. 地震・津波対策について (1) 萩市における地震・津波の発生をどのように想定しているのか (2) 津波における避難場所は (3) 大津波警報が発表されたとき、市民にどのように周知するのか 2. 阿武川ダムの放流について		



質問順位	13	質問者	西元 勇 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1．東日本大震災への復興支援について	萩市出身といわれている川村孫兵衛翁開祖の地、石巻市へ支援の手を。		
2．まちづくりとNPO とのかかわりについて	景観まちづくりへのアプローチとしてNPO 法人「維新・人・夢浪漫」による維新の道活性化運動に行政の支援の手を。		

質問順位	14	質問者	柴田保央議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 東日本大震災発生後	1. 萩市の防災対策について 2. 萩市への影響について		
2. 林政について	1. 市有林の管理について		

質問順位	15	質問者	諸岡皓二議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩市の防災対策について	1. 訓練について 2. 避難場所の確認について 3. 危機管理体制について 4. 「人災」としての原発災害について		
2. 福祉行政について	1. 萩学園所有の狐島が売却されますが萩市の対応は（福祉施設として）		

質問順位	16	質問者	大村 起夫 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1．史跡、萩城跡保存修理事業について	<p>東門及び三階矢倉跡の発掘調査が始まりました。 萩城跡は宝の山です。 中世以来の歴史と故郷を写し将来の日本を考える哲学の宝庫です。ものかわり人うつり、植生は遷移し樹相は格別で、逍遙の小径も歩くほどに人生に迫りきて宇宙の深奥を語ります。 その中で荒廃するままに打ち捨てられた場所があります。 本稿において、事業期間7年に及ぶ総事業費当初見積り18200万余の事業決定に至る経緯と構想を詳しくきく。 また、史跡整備第一番と思われる内堀の浚渫等について詳しくきく。</p>		
2．江向地区の雨水対策について	<p>・市長は、十年たったら江向地区の雨水問題は解消するとおっしゃってます。 既存の河添ポンプ場を最大限活用するための整備手法等を検証・検討しているとおっしゃるが、その整備手法に技術的難やコンセプト自体に問題はないのか。 詳しくきく。 ・福島原発事故は、大きな教訓をもたらしました。それから学んだことを雨水対策についていかすことが大切です。 真摯な議論と真剣な対応を求めるため、災害対応への態度として福島原発事故への感想をきく。</p>		
3．渡辺蒿蔵旧宅地の整備後の活用について	<p>渡辺蒿蔵旧宅地整備事業も今年度中に完了するみこみです。 その後の活用について、 まちじゅう博物館構想での位置づけや、市民との協働構想についてきく。</p>		

質問順位	17	質問者	椋 晶 雄 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 市民の安全のための防災体制の再点検について	<p>東日本大震災と福島第一原発事故の発生に学び、萩市民の安全のため市の防災体制を市民と協力して再点検すべきと考えるが、市長のお考えをお尋ねしたい。</p> <p>日本海では、地震及び津波は発生しないと断定することは危険であり、古い痕跡も存在する。</p> <p>火災、水害、土砂災害、地震、津波それぞれに対応した防災体制をこの際備え直しておくことが必要では。</p>		
2. 地域ワンプロジェクトとして実証実施された須佐湾遊覧船事業の促進について	<p>去る、4月29日から5月8日までの10日間、須佐地域のワンプロジェクトとして須佐湾遊覧船実証事業が実施され幸い天候にも恵まれて800名近い乗船客があった。</p> <p>県外からも160余名の乗船があり、乗船客の評判も良かった。乗船客のアンケートも「良かった」が97%を占め、定期化の要望も多かった。</p> <p>萩全体のバランスから見ても市内東部のポイントとして今後とも促進していきたいと地域の市民は希望しているが、市長のお考えをお尋ねしたい。</p>		

質問順位	18	質問者	佐々木 武夫 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 弱い立場の方や子供への優しい配慮ある町づくり環境づくりを	<p>1. 指月公園の花江茶亭に車椅子が入るようにできないものでしょうか</p> <p>2. 火葬場を斎場と表示できないか、又やすらぎ苑で親族が食事をするのに椅子を使ってできるようにできないものではないでしょうか</p> <p>3. 小学校で学ぶ児童の机をもう少し大きくし、幅や高さがそろい、椅子も高さを調整できるものに</p>		
2. 萩市の水路の補修・管理問題について	山から流れ出る水の水路補修や川の浚渫や農業用、生活用水路の修理、管理への迅速な対応と費用負担の軽減を		
3. 低炭素化社会(エコ化)推進の萩市の取り組みについて	自然エネルギーを利用した萩市の今後の取り組みと、団体や民間企業、市民が(家庭で)省エネ、エコ化を進める場合の税制、財政、金融面での支援措置を		